

PARKS IMPACT START-UP SEMINAR

学生の興味から始まるインパクトスタートアップと支援のデザイン

10周年を迎える東京大学本郷テックガレージで培われてきた“ものづくりエコシステム”の支援設計・文化・学びを共有し、九州・沖縄でどのように再現・発展できるのかを一緒に考えます。また、本郷で実践される「ものをつくる→顧客と話す」を繰り返すプロセスをもとに、九州で再現すべき支援要素や、九州ならではの強みについて議論します。

2026年 2月12日(木)
16:00-16:50

参加費
無料
(要予約)

📍 CIC福岡(ONE FUKUOKA BLDG 6F)

水野 峻介 氏 (株式会社Freezo)

東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻修士課程在籍。専門は電力・エネルギー分野。研究活動を進めるとともに、研究成果の社会実装を目指し、2025年に株式会社Freezoを創業。主に冷凍冷蔵倉庫向けのデマンドレスポンスおよびエネルギーマネジメントシステムの開発に取り組んでいる。



Freezo

神谷 優理 氏 (株式会社トレポータル)

東京大学大学院情報理工学専攻に在学中。大学院では農業用ロボットの開発を行い、画像認識や3DCGを扱っていた。トレカ交換で課題を感じ、トレポータルの開発を始めた。AWSで約1年インターンを経験し、AWS 認定資格(SAP、DVA)を保有する。Sony CSLでRAに従事。



TREPORTAL

内海 忍 氏 (株式会社BONSAIENCE)

九州大学大学院総合理工学府 博士課程在籍。23年春に友人祖父に譲り受けた盆栽がきっかけとなり、自動水やり機やBonsaiIoT(盆栽×IoT)の開発に従事。24年夏に、BONSAIENCE(盆栽×サイエンス)として経済産業省所管IPA未踏アドバンスト事業に採択。現、株式会社BONSAIENCE 立ち上げ人。盆栽歴3年目。



BONSAIENCE

下川 俊成 氏 (100株式会社)

福岡県出身。複数のスタートアップに挑戦後、10年以上にわたり学生の技術プロジェクト支援(「Today To Texas」、「東京大学本郷テックガレージ」、「ものゼミ」など)携わる。2022年には、全国の学生のためのオンライン開発プログラム「100 Program」などの立ち上げや運営を行う。



100

池内 泰大 氏

(東京大学産学協創推進本部スタートアップ推進部
ディレクター)

本郷テックガレージ/アントレプレナーシップ教育担当。京都大学大学院文学研究科修了(西洋古代哲学)。ハイテク・ハイグロススタートアップにおける倫理学研究でPh.D.取得。日系シンクタンク勤務ののち、東北大学にて教員・学生へのテックスタートアップ創出支援に従事(主な支援先に、3DArchitech, 3DC, Adansons, ElevationSpaceなど)。2025年4月より現職。

松井 克文 氏

(九州大学QREC准教授)

京都大学文学部卒業後、株式会社電通を経て、東京大学大学院学際情報学府博士課程修了。2019年から東京大学産学協創推進本部スタートアップ推進部ディレクター(本郷テックガレージ/アントレプレナーシップ教育担当)。2025年より現職。

申し込み方法

下記の2次元コードを読み込んで、お申し込みをお願いします。

締切 2/10(火)17:00



本セミナーはVenture café Fukuokaのプログラムの一つです。参加者はこちらから事前に登録しておくスムーズです！



Robert T.Huang Entrepreneurship Center of Kyushu University

九州大学 ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センター



KYUSHU UNIVERSITY